

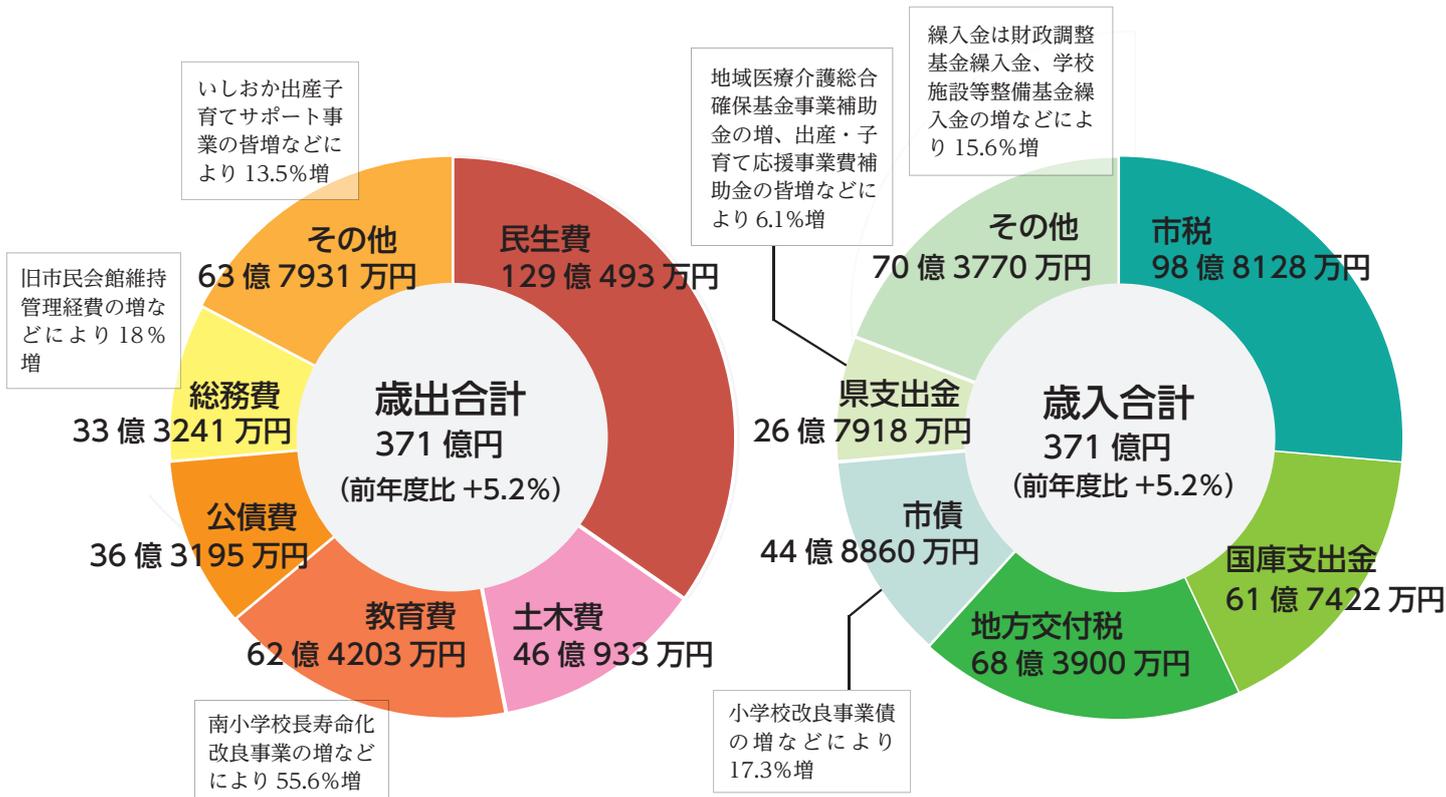
特 集

令和5年度 石岡市の予算

閩財政課 TEL 23-7293

< 令和5年度各会計予算 >

| | |
|------|---------------|
| 一般会計 | 371 億円 |
| 特別会計 | 171 億 8903 万円 |
| 合計 | 542 億 8903 万円 |



令和5年度におきましても、引き続き市政の舵取りをする責任者として、強い責任感と使命感をもって、あらゆる世代の皆さまと共に市政運営に邁進してまいります。

施政方針についてはこちら



令和4年3月に今後10年間のまちづくりを進めるための指針として総合計画基本構想を策定し、目指すべき将来像を「誰もが輝く未来へ共に創る石岡市」と定め、その実現のため「安全・安心」、「魅力・発信」、「対話・学び」を基本理念とし、SDGsの掲げる17の目標を各施策に取り入れ、9つの政策目標を掲げました。

本計画に基づき、市民と行政、市民と市民、多様な主体がつながり合い、魅力を育み、輝き合い、共にまちづくりをしていくことで、生涯にわたり誰もがあらゆるライフステージで、輝く未来を創り上げることができるよう「共生・共育・共働」の方針のもと、誰一人取り残さない持続可能なまちを目指してまいります。

さらに、基本構想に掲げた政策目標をまとめた「輝く魅力向上」「輝くまち」「輝くひと」「輝く暮らし」の4分野と、すべての分野を下支えする「チャレンジする市役所」を加えた各分野の施策展開をリードする事業を「リーディングプロジェクト」として位置づけ、迅速かつ効果的に取り組んでまいります。



令和5年第1回石岡市議会定例会施政方針 抜粋

リーディングプロジェクト 閩政策企画課 Tel. 23-7277

本市では「石岡市総合計画（基本構想・基本計画）」（計画期間：R4～R13）に基づき、まちづくりを進めています。10年間のまちづくりを進める中で、誰一人取り残さない持続可能なよりよい社会の実現への取り組みを様々な主体が共有し、結婚、出産、子育て、教育、社会経済活動、生きがいなど、生涯にわたり誰もがあらゆるライフステージで、輝く未来を創り上げることができる石岡市に向けて、以下のように、目指すべき将来の姿（将来像）と、将来像の達成に向けて大切にしている**基本理念**を掲げています。

目指すべき将来の姿（将来像）：『誰もが輝く未来へ共に創る石岡市』

将来像達成に向けて大切にしている基本理念「安全・安心」「魅力・発信」「対話・学び」

■市の方針 **共生** - 共に生きる -

共育 - 共に育つ -

共働 - 共に働く -

○SDGsの取り組み

グローバル化が進んだ現代では、様々な課題に対して、市民と行政が一体となり、解決のために団結して取り組んでいく必要があります。

本市においても「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現への取り組みを様々な主体が共有し、生涯にわたり誰もがあらゆるライフステージで、輝く未来を創り上げることができる石岡市を目指すため、SDGsの取り組みを推進します。



SDGsとは…国連で決議された世界共通の持続可能な開発目標のこと

◆輝く『魅力向上』プロジェクト① シティプロモーションの強化



シティプロモーションの推進 拡充 2,603千円 (秘書広聴課わがまち発信室)

○ブランドメッセージやロゴマークを活用したプロモーション活動

石岡市の知名度とイメージを向上させるため、シティプロモーション指針に基づき情報発信を行います。

また、ブランドメッセージをテーマとした動画コンテストを実施し、市民が自ら率先して地域の魅力を市内外に発信する機運の醸成を図ります。



▲本市のシティプロモーションロゴマーク

○情報発信ツールの効果的な活用

本市では、既存の情報発信媒体に加え、LINEやInstagramの運用を始めるとともに、ホームページのリニューアルを行いました。これらの媒体の特性を活かした「伝わる情報発信」を推進します。

また「石岡の情報まるっとお届けサイト」により、地域に根差した身近な情報や魅力を、市民自身が発信できるよう周知・啓発を進めます。



▲石岡の情報まるっとお届けサイト



輝く『魅力向上』
プロジェクト②

魅力の活用・創出



ハーフマラソンの開催

新規 15,850 千円 (スポーツ振興課)

令和4年度まで実施していた「石岡つくばねマラソン(最長10km)」を「ハーフマラソン」に移行します。市内外から多くの人を訪れることで交流人口の増加や、本市の活性化を目指します。



▲第16回石岡つくばねマラソン

観光連携応援事業

新規 5,000 千円 (産業プロモーション課)

いばらきフラワーパーク
駐車場整備事業

新規 74,892 千円 (商工観光課)



▲いばらきフラワーパーク
イルミネーション



▲花やさと山と
満開のソメイヨシノ

市内イベントの充実

拡充 17,562 千円 (商工観光課)



輝く『まち』
プロジェクト①

地域の特性を活かした都市基盤の整備



石岡駅周辺整備事業－第2期－

継続 263,137 千円 (駅周辺にぎわい創生課)

駅東側の未利用地をスケートボードパーク機能を併せ持つ都市公園として整備し、子育て支援や憩いの場を利用者へ提供します。また、災害時には一時避難所としても活用できるように、防災用テントの機能を持つ東屋、かまどベンチなどを設置します。

駅西側においては、バスターミナルの集約化により空きスペースとなったステーションパーク1階の有効活用を図ります。



▲石岡ステーションパーク

合併市町村幹線道路
緊急整備支援事業

拡充 177,131 千円 (都市計画課)

合併幹線道路である貝地・高浜線、駅前・東ノ辻線、村上・六軒線の整備および上曽トンネル供用に向けて、上林・上曽線の整備をすることで、地域間道路交通のネットワーク強化を図ります。

上曽トンネル整備事業

継続 1,318,596 千円 (道路建設課)



▲トンネル本体工事



▲トンネル上空



輝く『まち』
プロジェクト②

地域の特性を活かした生活環境の向上



ゼロカーボンシティに向けた取り組み

新規 13,115 千円 (生活環境課)

「ゼロカーボンシティ宣言」を行ったことを踏まえ、以下の取り組みを推進していきます。

【主な取り組み】

- ・地球温暖化対策実行計画等策定
- ・家庭用蓄電池設備導入促進補助金
- ・霞台厚生施設組合のごみ焼却熱発電からの電力購入
- ・施設のエネルギー消費削減 など



▲広域ごみ処理施設 クリーンセンターみらい

高浜駅周辺整備方針の検討

新規 5,700 千円 (都市計画課)

高浜駅周辺を、良好な居住空間を有する地域拠点とするため、高浜駅を中心としたエリアを対象として、今後のまちづくりを進めます。

令和5年度は、駅のバリアフリー化や駅前広場の整備に向けた検討を行います。

空家対策事業

新規 1,691 千円 (生活環境課)
(建築住宅指導課)



▲空家等の地域資源活用例：茅葺民家



輝く『ひと』
プロジェクト①

保健・医療対策の充実



産科医療施設開設支援基金

新規 100,000 千円 (健康増進課)
(地域医療対策室)

市内には、分娩を行う施設がなく、出産の際には市外の産科医療施設まで行かなければなりません。

本市では、分娩を行う産科医療施設を開設するための支援を行うことを目的に、新たに産科医療施設開設支援基金を設置し、基金を活用した産科医療施設の誘致に取り組めます。



地域医療対策事業

継続 5,496 千円 (健康増進課)
(地域医療対策室)

带状疱疹ワクチン接種助成事業

新規 2,000 千円 (健康増進課)

带状疱疹は、子どものころにかかった水ぼうそうのウイルスが原因で、疲労、ストレスなどで免疫力が低下すると、ウイルスが再び活性化して発症します。

50歳以上で带状疱疹を発症した人のうち、約2割の人が带状疱疹後、神経痛になると言われています。本市では、予防のためのワクチン接種費用の一部を助成することで、市民の不安や負担の軽減に努め、健康増進を図ります。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

新規 9,147 千円 (保険年金課) (健康増進課)
(高齢福祉課)



輝く『ひと』

プロジェクト②

出産・子育て環境の充実



いしおか出産子育てサポート事業

新規 62,509 千円 (健康増進課)

全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、妊娠期からきめ細やかな相談に応じる「伴走型相談支援」の充実と、妊娠・出産に係る費用の負担軽減を図るため「出産・子育て応援給付金」を一体的に実施します。



不妊・不育症治療費助成事業

新規 4,500 千円 (健康増進課)

不妊治療や不育症に対する経済的な支援により、前向きに治療に取り組むことができるきっかけづくりを行うことで、妊娠を希望する方へのサポート体制の充実を図ります。

通学支援の充実

拡充 10,469 千円 (政策企画課)
(教育総務課)



▲ JR 常磐線

地域の特徴を活かした教育の充実

拡充 3,555 千円 (教育総務課)



輝く『暮らし』

プロジェクト①

持続可能な産業振興



企業誘致の推進

新規 23,638 千円 (産業プロモーション課)
(商工観光課)

工業用地の確保に向けて、必要な開発可能性調査を進めるとともに、未利用地の活用検討、民間企業のマッチング、新規・既存企業支援などを推進します。



▲ 柏原工業団地上空からの写真

産業プロモーションの推進

拡充 36,025 千円 (産業プロモーション課)



▲ 台湾での PR 活動

事業者等への支援

拡充 11,175 千円 (商工観光課)

新規就農者への支援

継続 52,123 千円 (農政課)



複合文化施設整備基金

新規 100,000 千円 (駅周辺にぎわい創生課 複合文化施設整備推進室)

着実に施設整備を進めることを目的に、新たに複合文化施設整備基金を設置し、整備に係る事業費の計画的な確保に取り組めます。

複合文化施設整備事業

継続 1,913 千円 (駅周辺にぎわい創生課 複合文化施設整備推進室)

公共施設機能の複合化・集約化の検討を図りながら、市民が文化芸術を鑑賞し、参加し、創造することができるような新しい文化施設の整備に向けた取り組みを進めています。

令和5年度は、議論する場を設け、学識経験者や市民などと議論しながら、基本計画の策定に取り組めます。

共生社会の構築に向けた取り組み

新規 4,541 千円 (社会福祉課人権推進室)

社会的マイノリティをはじめ多様化する人権問題、犯罪や非行をした人たちの更生・保護、女性を取り巻くさまざまな問題などに対し、差別や偏見をなくしていくための啓発、問題解決に向け支援など、人権が尊重された共生社会の確立に向けた取り組みを進めます。



▲社会を明るくする運動



チャレンジする市役所 プロジェクト — 行財政改革大綱 —

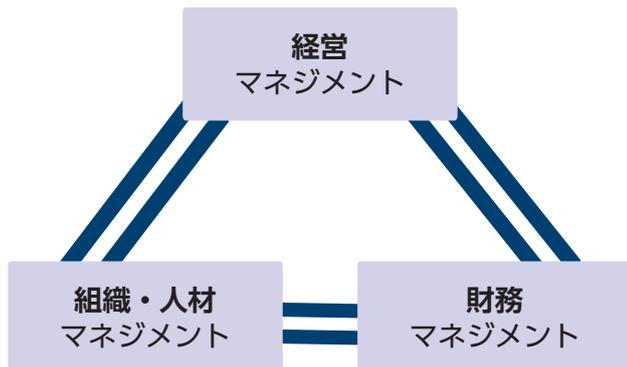
マネジメント体制の強化



マネジメントシステムの運用

新規 (政策企画課) (総務課) (財政課)

総合計画の実効性を高めるため、組織・人材および経営・財務マネジメントの連携を強化することで、PDCA サイクルを着実に実行し、市民に分かりやすい組織の構築、効果的な人員配置、効率的な予算の執行などに取り組めます。



働き方改革の推進

拡充 27,254 千円 (総務課) (教育総務課)

長時間労働の是正や柔軟な働き方がしやすい環境の整備により、市職員や教職員などのワークライフバランスを推進します。

取り組みの例として、電子決裁システムや校務支援システムの運用、小中学校への多機能型複写機の導入、部活動指導員(外部指導者)の活用などにより、負担軽減や事務の効率化を図ります。

ふるさと応援寄附金事業

拡充 122,357 千円 (管財課)

デジタル化の推進 全庁業務分析の実施

継続 13,000 千円 (情報政策課)